

東京農工大学大学院農学府入学試験 解答例・出題意図  
(2025年10月・2026年4月入学)

Example answer for the entrance examination (Entrance October, 2025・April, 2026)  
Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology

試験科目 Subject	プログラム Program
植生管理学	自然環境保全学

出題意図

---

---

問題〔1〕 主要な植生を構成する植物とその学名（属名）に関する知識をみた。

---

---

問題〔2〕 植生管理に関連する専門用語についての理解度，および簡潔な文章による説明能力をみた。

---

---

問題〔3〕 大型草食動物の高密度化によって生じている植生管理上の問題についての知識，および文章表現の正確性，論理性をみた。

---

---

問題〔4〕 自然のアンダーユースによる保全上の問題についての知識，および文章表現の正確性，論理性をみた。

---

---

東京農工大学大学院農学府入学試験 解答例・出題意図  
(2025年10月・2026年4月入学)

Example answer for the entrance examination (Entrance October, 2025・April, 2026)  
Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology

試験科目 Subject	プログラム Program
野生動物保全学	自然環境保全学

出題意図

---

問題〔1〕

---

動物福祉の内容を理解したうえで、骨格となる基本原則を具体的に記述できる力をみた。同時に、動物の権利運動と区別できる力を見た。

---

問題〔2〕

---

単胃草食獣と反芻獣の消化吸収を理解したうえで、それらの差異を明確にしつつ、比較して説明できる力をみた。

---

問題〔3〕

---

動物園の機能を理解したうえで、その社会的役割について、必要な要点を挙げて具体的に説明できる力をみた。

---

問題〔4〕

---

動物を用いた実践的な教育普及活動を理解したうえで、必要な準備や注意点、活動を効果的にするための配慮など、的確に記述できる力をみた。

---

問題〔5〕

---

- ・ 特別天然記念物という専門用語の定義を正しく記述していること。
- ・ 設問に対して適切な専門用語を使い、具体例をあげて自然環境の野生動物の保全内容の特徴を表現する力をみた。

---

問題〔6〕

---

- ・ 腎脂肪指数という専門用語の意味と計測内容、計測式を正しく記述していること。
- ・ 設問に対して適切な専門用語を使い、野生動物の栄養状態の評価について表現する力を

東京農工大学大学院農学府入学試験 解答例・出題意図  
(2025年10月・2026年4月入学)

Example answer for the entrance examination (Entrance October, 2025・April, 2026)  
Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology

試験科目 Subject	プログラム Program
野生動物保全学	自然環境保全学

みた。

問題〔7〕

- ・着床遅延という専門用語の意味を正しく記述していること。
- ・設問に対して適切な専門用語を使い、野生動物の繁殖生理の特徴について表現する力をみた。

問題〔8〕

- ・非侵襲的調査という専門用語の意味を正しく記述していること。
- ・設問に対して適切な専門用語を使い、具体例をあげて野生動物の野外調査に関する福祉的配慮の特徴について表現する力をみた。

問題〔9〕

著者の有する専門知識と同時に、文章力をみた。

問題〔10〕

筆者の有する専門知識と同時に、文章力をみた。

問題〔11〕

筆者の有する専門知識と同時に、文章力をみた。

問題〔12〕

筆者の有する専門知識と同時に、文章力をみた。

問題〔13〕

個体数推定手法についての専門知識と理解度をみた。

東京農工大学大学院農学府入学試験 解答例・出題意図  
(2025年10月・2026年4月入学)

Example answer for the entrance examination (Entrance October, 2025・April, 2026)  
Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology

試験科目 Subject	プログラム Program
野生動物保全学	自然環境保全学

問題〔14〕

特定鳥獣保護管理計画について適切な用語を使い、内容を理解して解答できているかをみた。

問題〔15〕

野生動物の非消費利用価値について適切な用語を使い、内容を理解して解答できているかをみた。

問題〔16〕

野生動物のモニタリング調査の空間単位について適切な用語を使い、内容を理解して解答できているかをみた。

東京農工大学大学院農学府入学試験 解答例・出題意図  
(2025年10月・2026年4月入学)

Example answer for the entrance examination (Entrance October, 2025・April, 2026)  
Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology

試験科目 Subject	プログラム Program
健康アメニティ科学	自然環境保全学

出題意図

---

---

問題〔1〕

---

自律性体温調節機能とその役割について、環境温変化の持続時間の観点から理解する能力を問う。

---

---

問題〔2〕

---

「アメニティ」概念とその我が国における浸透に関する理解を問う。

---

---

問題〔3〕

---

健康アメニティ科学分野の専門的知識を問う。

---

---

東京農工大学大学院農学府入学試験 解答例・出題意図  
(2025年10月・2026年4月入学)

Example answer for the entrance examination (Entrance October, 2025・April, 2026)  
Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology

試験科目 Subject	プログラム Program
保全生態学	自然環境保全学

出題意図

---

問題〔1〕

保全生態学に関わる基本的な用語の理解を問う。

---

問題〔2〕

保全生態学に関わる基本的な用語の深い理解を問う。

---

問題〔3〕

(1) 操作実験の基本であるBACIデザインおよびそのデザインで得られた結果の評価に対する理解とそれらを論理的に説明する能力を問う。

---

(2) 論文の図を正しく読み取り、その結果が意味するところを自分なりに解釈する能力を問う。また、図のキャプションを正しく理解し、結果から考察できることを論理だてて説明する能力を問う。

---

東京農工大学大学院農学府入学試験 解答例・出題意図  
(2025年10月・2026年4月入学)

Example answer for the entrance examination (Entrance October, 2025・April, 2026)  
Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology

試験科目 Subject	プログラム Program
森林保護学	自然環境保全学

出題意図

---

問題〔1〕

---

森林保護学や生態学における基本語句を対象として、それらを理解したうえで、3行程度に適切に要約する力を確認した。

---

問題〔2〕

---

(1) 森林生態系の構成物について、その役割を理解したうえで、利点と欠点という相反する2つの要素を適切に要約する力をみた。

---

(2) 日本の生態系の現状についての理解度を確認し、具体例を挙げて説明することで、筆者の考えを適切に要約する力をみた。

---

東京農工大学大学院農学府入学試験 解答例・出題意図  
(2025年10月・2026年4月入学)

Example answer for the entrance examination (Entrance October, 2025・April, 2026)  
Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology

試験科目 Subject	プログラム Program
森林経営学	自然環境保全学

出題意図

---

問題〔1〕

---

民間企業における森林の生物多様性保全へ向けた国際的取り組みに関する専門知識の修得状況をみた。同時に、文章を用いてそれを適切に説明する能力をみた。

---

問題〔2〕

---

森林政策に関する基礎的知識の修得状況をみた。同時に、文章を用いてそれを適切に説明する能力をみた。

---

問題〔3〕

---

森林経営学に関わる専門用語の知識をみた。同時に、文章を用いてそれを適切に説明する能力をみた。

---

東京農工大学大学院農学府入学試験 解答例・出題意図

(2025年10月・2026年4月入学)

Example answer for the entrance examination (Entrance October, 2025・April, 2026)

Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology

試験科目 Subject	プログラム Program
森林生態学	自然環境保全学

出題意図

問題〔1〕

設問は森林生態系における窒素動態と溪流への窒素流出といった基本的な事項に対する理解度を問うものであり、設問に対して指定した用語を含み、森林生態学分野の専門用語を正しく使い、矛盾の無い論理展開で根拠を示しながら説明ができているかを評価した。

問題〔2〕

この問題では、森林生態学分野における基礎知識の理解度と科学的思考力・論述力を評価することを目的としている。設問に対して、蒸散に関連する専門用語を正確に使い、矛盾のない論理的な展開で根拠を示しながら説明できるかが評価のポイントとした。

問題〔3〕

森林生態学に関する基本的な用語を正しく理解し、わかりやすく記述できているかを評価した。「(1) 下刈り」「(2) 林分密度管理図の収量比数」は人工造林の保育作業、「(3) ギャップ更新」は森林の天然更新、「(4) ポドゾル化作用」「(5) 土壌生成因子」は森林土壌、「(6) 維管束」は植物の内部構造、「(7) 黄化」は光に対する生理反応、「(8) 前世稚樹」は森林生態系の更新、「(9) 指標植物」は造林樹種と環境の関係性、「(10) カルス」は植物細胞に対する基礎的な知識を問うものである。

東京農工大学大学院農学府入学試験 解答例・出題意図  
(2025年10月・2026年4月入学)

Example answer for the entrance examination (Entrance October, 2025・April, 2026)  
Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology

試験科目 Subject	プログラム Program
山地保全学	自然環境保全学

出題意図

問題〔1〕

この問題は、森林・草地・裸地における基礎的な熱収支的相違を理解できているかを問うものである。前提として純放射量が、次のように定義されていること

純放射量 = 下向き日射量 + 下向き長波量 - 上向き日射量 - 上向き長波量

が理解できていることが必要である。さらにアルベドが日射の反射率であり、

アルベド = (上向き日射量) / (下向き日射量)

と定義され、森林においてはアルベドが低いことを理解できているかを問うものである。純放射量とは上記のように放射エネルギーの収支であり、日中を例にすれば、そのエネルギーの分配が、問題に付した図のように分けられることを理解している必要がある。

用語としては、A：純放射量（または正味放射量、ネットラディエーションなど）、B：潜熱（もしくは蒸発熱）、が正しく記述できていることが必要である。

記述説明において、森林のアルベドが低い理由として、日射を利用して光合成をおこなうためであることが明確に記述されていることが必要である。また、光合成には水が必要であり、樹木は根系を地中に張りめぐらせ、効率的に土壌中の水分を樹体内に取り込み、光合成活動により大気に水分を放出しているというメカニズムが説明できていることが必要である。

そのほか、裸地においては地表面近くが日射エネルギーにより極端に乾燥することにより、液体としての土壌中の水移動が妨げられることについて説明があり、その結果として裸地の潜熱が小さいという記述がある場合についても加点の対象とする。

問題〔2〕

シカの個体数増加によって、現在顕在化している問題について、山地水循環、土砂流出の観点で理解できているかを問う問題である。シカ個体数増加は、下層植生の消失、踏圧による地表面の攪乱と地表面浸透能の低下をもたらすことが記述されていることが必要である。さらにそれらの詳細として、下層植生の消失が地表面の裸地化をもたらし、樹木が健在であって

東京農工大学大学院農学府入学試験 解答例・出題意図  
(2025年10月・2026年4月入学)

Example answer for the entrance examination (Entrance October, 2025・April, 2026)  
Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology

試験科目 Subject	プログラム Program
山地保全学	自然環境保全学

も林床への雨滴衝撃が生じること、その結果として地表面浸透の低下が生じることを理解できていることが望ましい。また、下層植生の消失が、落葉落枝といった樹木からの降下バイオマスを流亡しやすくすることについて、記述があることが望ましい。

上記の影響は、山地斜面において表面流出を増加させる効果があり、その結果として降雨中の早い流出成分（直接流出または洪水流出）を増加させ、表面侵食が増大するというメカニズムが理解できているかを問う問題である。

問題〔3〕

土砂災害の形態として、がけ崩れ、土石流、地すべりのそれぞれの定義が正しく理解できるかを問う問題である。特に、土石流は固液混相流とも言われ、多量の水を含んだ土砂が流体として流下する現象であること、地すべりが大規模なゆっくりとした土塊の移動であることが説明できていることが必要である。がけ崩れについては、斜面の崩壊や乾燥期に発生する落石や岩塊の剥離といった現象も含まれることが説明できていることが望ましい。あわせて、それぞれの土砂災害に対応する砂防設備について、具体的に名称をあげて説明できることを採点の項目とする。

問題〔4〕

用語の説明であり、それぞれ適切に理解できていることを確認する問題である。

東京農工大学大学院農学府入学試験 解答例・出題意図  
(2025年10月・2026年4月入学)

Example answer for the entrance examination (Entrance October, 2025・April, 2026)  
Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology

試験科目 Subject	プログラム Program
森林利用システム学	自然環境保全学

出題意図

---

問題〔1〕

①14.523

②20.00

③11.099

④20.00

⑤12.295

⑥10.20

⑦12.968

⑧9.80

⑨16.632

⑩13.634

問題〔2〕

現代のCut-to-Lengthシステムについて、正しく理解しているか、また日本の林業生産作業システムの現状を把握できているか、知識を問うた。

問題〔3〕

タワーヤーダについて、どのような機械であるか、その作業システムまで含めた理解度をみた。

問題〔4〕

森林利用システム学に関わる専門用語を正しく理解し、説明することができるかをみた。